保活ワンストッププロジェクト 事業概要

保護者が負担に感じている保活の手続きを一元化し、保育園探しから入園までの手続がオンラインで完結する 「保活ワンストップシステム」を構築。保護者の負担軽減を図り、子育てと仕事・家事との両立に向けた不安感や ストレス軽減につなげる。

【保護者の保活の負担】



①情報収集が大変

手続や施設の情報が散逸しており、情報収集に手間と時間が掛かる

②見学予約が大変

施設見学は開園時間中に電話で予約することが必要なため、子育てで 忙しい中、大きな負担

③入所申請手続が大変

申請書への手書きでの記入や、提出のために妊娠中や子連れで窓口を 訪問する必要が負担



①保活に関する情報収集 ②施設見学予約 ③入所申請

などの手続を、スマホから民間保活システム (fi)えんさがそっぷ や hoicil)

を通して オンライン・ワンストップ で可能に



保活ワンストッププロジェクト 事業概要

取組状況

- > 国のデジタル田園都市国家構想交付金 TYPESを活用して取組を実施(採択済み)
- ▶ 連携 3 自治体(板橋区、足立区、調布市)とともに取組を開始

今後の取組

- > GovTech東京が保活情報の連携基盤を構築
- ➤ 民間保活アプリと保育ICTシステムを改修し 連携基盤とつなぐことにより、

保活ワンストップシステムを実現

- > 保活ワンストップサービスを秋に開始予定
 - ・連携自治体の年度途中の入園手続きから 利用
 - ・120程度の保育施設が参加見込

<保活ワンストップシステム イメージ>

